



「冬季オリンピックでの日本選手の活躍に心から拍手」

校長 柴崎 憲一

3月は旧暦で「弥生」と呼びます。この由来を調べてみると、草木がいよいよ生い茂る月という意味の「木草弥や生い月」が詰まった「やよい」から来ているそうです。3月は春の生命が萌える季節です。また3日はひな祭りで「桃の節句」です。桃の節句は、古代中国から伝わった上巳の節句を起源とし、平安時代には紙人形に自分の厄災を移して川に流した風習が、江戸時代以降、ひな人形を飾る「ひな祭り」という日本古来の文化となって、現代に受け継がれています。



さて、2月4日から22日まで開催されたイタリアのミラノ・コルティナ冬季オリンピックでは、日本選手団は金5個、銀7個、銅12個の合計24個のメダルを獲得し、過去最多だった2022年北京大会を上回るメダル獲得となりました。日本とイタリアの時差は8時間あるため、テレビ中継は日本では夜から早朝にかけて行われていました。私は開会式・閉会式や各競技を、連日早起きしてテレビ観戦していました。オリンピックに賭ける選手たちの活躍には、たくさんの感動と元気をもらいましたが、そのなかで、ふたつの場面を取り上げたいと思います。

一つ目は、スキージャンプ混合団体です。この競技は12か国のチームの男女2人ずつがジャンプを2回飛んで、その合計得点を競うものです。4年前の北京大会でスーツ規定違反により失格となった高梨沙羅選手は、当時、現役引退の文字が頭から消えませんでした。しかし、多くの人たちの支えや、ジャンプを始めた小学生のころの姿を思い返し、競技を再開します。今大会で日本チームは、丸山希選手、小林陵侑選手、高梨沙羅選手、二階堂蓮選手の4人で臨みました。団体戦は、一つのミスがメダルの色に関わるほどの責任や重圧と戦わなければなりません。そのような中で、支えてくれた多くの人たちのためにという高梨選手と、「沙羅のために…」と彼女を支える仲間が一丸となつての跳躍。選手たちが悪夢に立ち向かい、それぞれの役割を果たし、力を出し切つての銅メダル獲得となりました。

二つ目は、フィギュアスケート・ペアの三浦璃来選手と木原龍一選手の「りくりゅうペア」です。フィギュアスケート団体で日本の銀メダル獲得に貢献した両選手でしたが、ペア・ショートプログラムでは、持ち味のリフト（男性が女性を頭上に持ち上げて降ろすこと）でバランスを崩し、5位と出遅れてしまいます。しかしフリーの演技では、冒頭のジャンプを成功させると、その後も一心同体、完成度の高い演技を見せ、流れるような美しい滑りと豊かな表現力で会場を魅了。フリーの世界歴代最高得点を記録し、5位から大逆転の金メダル獲得となりました。時折、「オリンピックには魔物がいる」と言われ、思わぬミスをしてしまい、世界の大舞台で本来の力を出しきれなかった選手の姿を見かけますが、見事逆境を乗り越えた会心の演技には、私ももらい泣きしてしまいました。

このようにオリンピック・パラリンピックが世界で注目されるのは、4年に一度行われる祭典であるということだけでなく、この日のために世界中のトップアスリート達が切磋琢磨し、強い精神力をもって競技に挑む姿と、そこには筋書きのないドラマが数多く展開されることに、私たちは感動や勇気、元気をもらうことができるからではないかと思います。絶対王者と注目されながらメダルに届かなかった選手がいます。逆境をはね返して栄光をつかむ選手もいます。成功と失敗は紙一重。4年に一度の大舞台で、リスクを恐れず、果敢に競技に挑む選手の姿は、観ている私たちの心を揺さぶります。

学校も同様で、日々の授業や学校行事など子ども達の頑張る姿や成長する姿には台本には表すことのできないドラマがあり、だからこそ学校は面白く、仕事をしている我々も教師としてのやりがいを感じながら子ども達と向き合っています。

この学校だよりも今年度最後となりました。本年度も家庭、地域の皆様の温かい御理解、御協力をいただきながら、実りある教育活動を進めることができました。これも、本校と保護者や地域の皆様との信頼関係の賜物であると強く感じています。来年度も、白岡中学校への御理解と御支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

体験を通した豊かな学び！ ～防災学習・出前授業～

本校では、各学年で体験を通じて自分の生き方や社会への参画意識を醸成するキャリア教育を推進しています。2月は、2年生と1年生の総合的な学習の時間で体験学習を実施しました。

2年生では、2週にわたり防災学習に取り組みました。日本赤十字社埼玉県支部より先生方をお招きし、「自助」「共助」の力を高めるための多彩なプログラムに挑戦しました。日頃の備えが自分や周囲の大切な人を守ることに、そして、地域社会との繋がりが、災害時の大きな支えとなることを実感することができました。また、当日は多くの地域の皆様にもご来校いただき、学校と地域がともに防災力を高める貴重な機会となりました。

1年生では、白岡中央総合病院から7つの医療職の方々を講師に迎え、出前授業を実施しました。授業では、それぞれのブースで専門職の方々から直接お話を伺い、生徒たちは体験活動を通して医療の多様な仕事に触れていました。また、講師の方々が、病院で患者さんと向き合う際の思いや姿勢についても学び、自分の生き方や職業観に、それらが大きな影響を与えることを改めて知る機会となりました。出前授業を通して、自分の生き方に思いを巡らせ、将来の進路を考える上で大きな刺激になったようです。

竹ひし作り



避難所設営体験

白岡中央総合病院出前授業

先生方からの
応援メッセージ！



それぞれの道を進む3年生。

27日(金)に県公立高等学校の受検を77名の3年生が終えました。これまで積み重ねてきた努力が発揮されたと思います。そして、一人一人が次の進路へ歩み出す節目になったはずです。中学校生活も残り僅かです。最後まで、大切な仲間と共に、明るく過ごしていきましょう。

高校受験は過程です。本当の勝負は高校受験後から。それぞれが歩みを進めるその道で、自己実現を果たしてほしいと心から願っています。

March 3月		行事
日	曜日	
1	日	
2	月	
3	火	県公立高等学校入学者選抜追検査
4	水	
5	木	3年生を送る会⑤⑥
6	金	県公立高等学校入学許可候補者発表
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	生徒会活動日
11	水	給食終了(3年)
12	木	
13	金	第36回卒業証書授与式
14	土	
15	日	
16	月	職員会議 ふれあいデー 3年臨時休業
17	火	1年生保護者会⑤
18	水	給食終了(1・2年) 2年生保護者会⑤
19	木	3時間授業
20	金	春分の日
21	土	
22	日	
23	月	3時間授業
24	火	3時間授業
25	水	3時間授業
26	木	修了式
27	金	学年末休業日
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	お別れの会

【4月の主な予定】

- 7日(火) 準備登校
- 8日(水) 入学式・始業式
- 9日(金) 新入生歓迎会・白中オリエンテーション
- 13日(月) 給食開始
- 23日(木) 全国学力・学習状況調査
- 25日(土) 土曜授業 授業参観 部活動保護者会